

# クレス出版

## 鉄道技術発達史 全7巻／別巻2

長らく品切状態が続き、再版が待たれた、「日本の鉄道技術80年の変遷を系統的に示した貴重書」が、いま電子書籍でよみがえる！

### ▶豊富な図表（例）

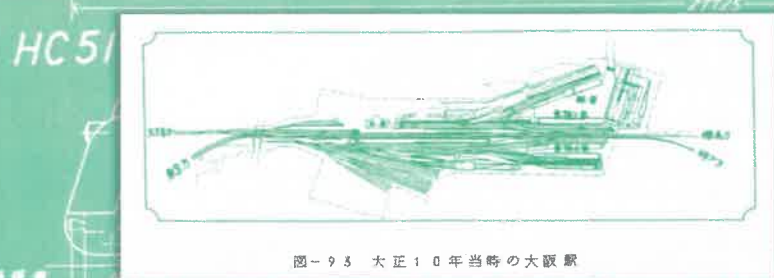


図-9-3 大正10年当時の大駅



図-1 品川駅開設当時の信号機

### ▶刊行にあたって

鉄道は装置産業であり、そのハードを極めて広範にわたる技術が支えている。日本の鉄道技術が優秀であることはひろく認められたところで、新幹線に集約された日本の鉄道技術の水準は当時の世界に誇りうるものであった。ところが今日、日本の鉄道はスピード・サービスだけとっても、ヨーロッパ諸国にはるかにおくれをとる現状にある。新幹線はもはや世界における「鉄道復権」の象徴ではなく、在来線については技術の頹廃とさえ酷評されたみじめな時代が続いた。日本国有鉄道が財務的困難におちいってしまったのは、スピードなどサービス面で利用者からみはなされたことにもおおきな原因があった。日本国有鉄道「解体」後3年を経過し、一部では国鉄時代の桎梏を脱したかのごとく新規の技術の展開がみられ、利用者の回帰もみられる。このような時期にあたって、日本の鉄道技術の発達史を歴史的に分析するなかで、利用者のための鉄道技術の発展のありかたを反省してみることは、利用者にとっても、研究者にとっても、現場の技術者にとっても意義深いことであると信ずる。

『鉄道技術発達史』は、鉄道80周年の記念事業として日本国有鉄道鉄道技術研究所が昭和33年から編集・刊行したものである。未定稿的なものであり、内容に精粗もあるが、鉄道技術についての数少ない包括的な通史的著作物である。約30年前の刊行物であって、すでに歴史資料としての性格を有するが、鉄道技術が昭和39年に開業する新幹線へと結実されていく段階での編集であり、鉄道技術の上向期におけるエネルギーがこめられているという意味でも参照にあたいする。少部数しか印刷されなかったため、ひろく知られていたわりにはセットでの入手は極めて困難であったので、当社が日本国有鉄道の承継法人である日本国有鉄道清算事業団の正式な承認を得てここに復刻刊行するものである。

SalesID	ISBN	シリーズ名称	同時アクセス1 (本体価)	同時アクセス2 (本体価)	同時アクセス3 (本体価)
KS00001129	9784906330232	鉄道技術発達史 第1回配本 全4巻 (分売不可)	¥77,000	¥99,000	¥121,000
KS00001130	9784906330249	鉄道技術発達史 第2回配本 全5巻 (分売不可)	¥88,000	¥110,000	¥132,000

第1回 全4巻

I	第1篇 総説	第1章 沿革
		第2章 鉄道国有
		第3章 組織
		第4章 技術基本規程
		第5章 広軌改築
		第6章 鉄道電化
		第7章 新幹線(東京~下関)
		第8章 鉄道技術の海外発展
		第9章 技術教育
II	第2篇 施設(1)	第1章 総説
		第2章 建設
		第3章 線路
III	第2篇 施設(2)	第4章 停車場
		第5章 土木
		第6章 建築
別巻I	第2篇 施設	図表編

第2回 全5巻

IV	第3篇 電気	第1章 信号保安
		第2章 通信
		第3章 無線通信
		第4章 電務
		第5章 電灯電力
		第6章 電気運転設備
		第7章 発給電
V	第4篇 車両と機械(1)	第1章 総説
		第2章 蒸気機関車
		第3章 電気機関車
		第4章 内燃機関車
		第5章 客車
		第6章 電車
VI	第4篇 車両と機械(2)	第7章 気動車
		第8章 貨車
		第9章 工場設置計画
		第10章 工場の運営
		第11章 国鉄自動車
		第12章 機械
VII	第5篇 運転	第1章 総説
		第2章 列車
		第3章 保安
		第4章 機関車
		第5章 電車および気動車
		第6章 客貨車
第6篇 船舶	第1章 総説	
	第2章 船舶	
	第3章 海技	
第7篇 研究	第1章 濛しよう時代から鉄道試験所時代まで	
	第2章 官房研究所時代	
	第3章 鉄道技術研究所時代	
第8篇 年表		
別巻II	第3篇 電気~第6篇 船舶	図表編